

昇龍

-しょうりゅう-

龍蔵寺便り
第5号
2022.3

境内整備のお知らせ

◎参拝者用トイレの整備

大師堂西側にある参拝者用のトイレを新調いたしました。以前の暗く使いにくいトイレから、清潔感のある明るい印象となり、安心してご利用いただけるようになりました。



新設トイレ正面



目隠し用の柵や手洗い用の水場も設置

◎赤門周辺の美化整備

本堂正面門＝赤門周辺の、美化整備をいたしました。



整備前の様子



整備後の様子



従前の白いフェンスを撤去し、

四ツ目垣と呼ばれる竹垣を設置。また、囲いの中の木製電柱が劣化により倒壊の恐れがあるとの指摘を受け撤去。境内にコンクリートの電柱を新設しました。お寺の顔ともいえる赤門周辺が、荘厳な雰囲気となりました。



新設した電柱



編集後記

お釈迦様の言葉です。

「目に見えるものでも、見えないものでも、遠くに住むものでも、近くに住むものでも、すでに生まれたものでも、これから生まれようと欲するものでも、一切の生きとし生けるものよ幸いなれ」(スッタニパータ147)

この世のすべてのいのちが、穏やかに幸せになることを心よりお祈りいたします。(副)

発行日…令和四年三月十六日
発行所…青柳山談義堂院龍蔵寺
発行人…眞木 興空
編集人…眞木 興遼

TOPIC

- ◆令和四年元三会
- ◆不登校・ひきこもり支援の会 龍蔵寺にて開催
- ◆住職法話集発刊について
- ◆境内整備のお知らせ (参拝者用トイレ・赤門周辺)

青柳大師龍蔵寺 公式ホームページのご案内

行事や活動についての情報やお寺の歴史・由緒を紹介しております。是非一度ご覧ください。



←左のコードを読み取っていただくか、「青柳大師」で検索ください。



大師堂前の参拝の様子

令和四年 元三会 一月三日

令和四年一月三日、当山伝統の初詣行事Ⅱ元三会（がんざんえ）を執り行い、秘仏御開帳・大護摩供を厳修いたしました。

本年も、屋外でのお守り・おみくじ授与、入場制限など、コロナ対策をとりながらの開催となりました。また新たな試みとして、オンラインによる護摩札予約等の対応も実施しました。

当日は一時的な感染状況の好転もあり、昨年よりも多くのご参拝がありました。つつがなく行事を執り行うことができ、新年の清々しい空気の中、皆様の一年の息災をお大師様にご祈願いたしました。



令和4年元三会チラシ



お守りは昨年同様屋外テントで対応

龍蔵寺住職法話集 上毛新聞社より出版

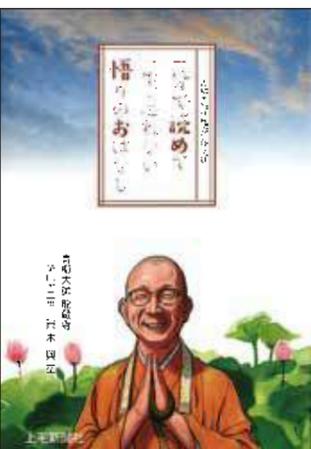
当山檀徒の皆様には既にお渡しをさせていただきましたが、令和三年十二月、当山住職の法話集「一分で読めて一生忘れない悟りのおはなし」を上毛新聞社より発刊いたしました。

本書は、平成十七年から配信を続けているメルマガ法話をまとめたもので、「気軽に仏教に触れてもらいたい」という住職の想いから作られました。

お檀家の中には、本の感想をお話くださる方や、自ら本をお求めの上、お知り合いにお配りくだ



やなぎ文庫



法話集表紙



寺院専門誌「月刊住職」にて記事掲載

さる方もいらつしやり、大変にありがたく感じております。

また、書店にて本書を手にとったことをきっかけに、龍蔵寺を訪れてくださる方や、全国的な寺院専門誌に記事が掲載されるなど、法話集の出版を通じてのご縁の広がりを嬉しく思います。

今後も「龍蔵寺やなぎ文庫」と称し、仏教を身近に感じて頂ける、皆様のお役に立つ書物を発行してまいります。
(住職法話集は、県内主要書店やインターネット通販等でも取り扱いをしています。)



上記のQRコードよりLINEにてメルマガ法話を読めます。よろしければご登録ください。

青柳大師節分会 大般若転読会にて 「転禍為福」祈願



上毛新聞(令和4年2月4日)掲載

不登校・ひきこもり支援の会 龍蔵寺本堂にて開催



日本心理療法協会主催の、不登校・ひきこもり支援の会Ⅱ「学校について語る会」を後援し、本年一月より会場提供の協力をさせていただいております。

一月・二月に行われた会では、日本心理療法協会代表理事であり、通信制高校の校長も務めている椎名雄一先生が、ご自身の「ひ

ちよつと寄り道

仏教コラム

二河白道(にがびやくどう)

一 河白道(にがびやくどう)とは、極楽往生を願う信心をたどえたお話です。

左の絵図をごらんください。西側の岸に阿弥陀如来の極楽浄土が描かれ、反対側の岸には、盗賊や獣の群れが描かれています。兩岸の間には、浄土へ続く一本の白い道(白道(びやくどう))が延び、道の両側には、氷のように



令和四年二月三日、節分会を執り行いました。オミクロン株の流行から、県内の感染者数も急増。感染症対策のため、参加者を五十名に限定し、境内での豆撒き式は自粛という形にて開催いたしました。

きこもりからの回復体験」を踏まえて『不登校・ひきこもりはなぜ増える?』と題した講演をおこない、続いて参加者同士の意見交流がなされました。

会には、ひきこもりの方のご家族、学習塾の経営者、教育委員会の方や、大学で教育学を学ぶ学生さんなど、様々な方が参加され、〈臨床仏教師〉の資格を持つ当山副住職も、僧侶の立場から皆様とお話しをさせていただき、新しいご縁が結ばれる有意義な場となりました。

今後も定期的な開催を予定しており、〈龍蔵寺ホームページ〉にも通知してまいりますので、ご興味をお持ちの方は是非足をお運びください。

冷たい河と、燃え盛る炎の河が逆巻いています。

冷たい河は、「むさぼり・欲張り」の煩惱を表し、燃え盛る炎は、「怒り・憎しみ」の煩惱を表しています。

そして、この世においては、お釈迦様(向かって右の仏さま)が「浄土を目指しなさい」と勧め、浄土においては、阿弥陀さま(向かって左の仏さま)が「こちらへ来たれよ」と招いています。

白道(びやくどう)の上を、弥陀の浄土を目指し進む人が描かれています。この人は今、迷い・苦しみから、安らぎに満ちた彼岸の浄土へ、一目散に進んでいます。

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、この世における「迷い・悩み・苦しみ(暑さ・寒さ)」も、「南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏」と、阿弥陀さまへの信心を持って暮らせば、煩惱の河を渡り切って、安らぎに満ちた極楽浄土(彼岸)に行くことが出来る、と教えているのかも知れません。

※この記事は、龍蔵寺墓地水屋に掲示している「お墓まわりの法話」からの転載です。「お墓まわりの法話」は随時更新していきますので、門前掲示板の「今月のことば」と共に、ぜひお目通しください。